提供記事

媒体名	産経新聞
掲載日	2005.11. 7

WAVE

IBM-14

日本IBM科学賞
5人が受賞

日本IBMは「第19回日本IBM科学賞」（選考委員長、江崎玲於奈・茨城県科学技術振興財団理事長）の受賞者5人を決定した。同賞は物理、化学、コンピューターサイエンス、エレクトロニクスの4分野の基礎研究で優れた成果をあげた45歳以下の研究者に贈られる。授賞式は22日、東京都千代田区の千代田放送会館で。受賞者は次の通り（敬称略）。

【物理】小形正男・東京大学大学院助教授

【化学】中谷和彦・大阪大学産業科学研究所教授

【コンピューターサイエンス】長谷川真人・京都大学数理解析研究所助教授

【エレクトロニクス】川崎雅司・東北大学金属材料研究所教授▽平川一彦・東京大学生産技術研究所教授

媒体名	化学工業日報
掲載日	2005.11. 7

IBM-2

日本IBM科学賞
中谷阪大教授など5名が受賞

日本IBMは、第十九回「日本IBM科学賞」の選考を終え、受賞者を決定した。物理、化学、コンピューターサイエンス（バイオインフォマティクスを含む）、エレクトロニクス（バイオ、エレクトロニクスを含む）の四分野における優れた基礎研究に授与するもので、化学分野の「核酸を精密に認識する有機分子の開発と展開」（中谷和彦大阪大学産業科学研究所機能分子科学研究部門精密制御化学研究分野教授）を選定。有機小分子がデオキシリボ核酸（DNA）のミスマッチを特異的に認識することを実験的に認識することを世界に先駆けて実験的に示したことなどが評価された。この応用で、ガンや遺伝病などの診断法や治療法の開発につながる可能性があるという。

また物理分野は「新奇超伝導体における強相関領域での超伝導機構の理論的研究」（小形正男東京大学大学院理学系研究科助教授）、コンピューターサイエンス分野は「計算の意味論とプログラミング言語の理論の研究」（長谷川真人京都大学数理解析研究所助教授）、エレクトロニクス分野は「酸化物エピタキシーの精密化と集積化による新電子機能の開拓」（川崎雅司東北大学金属材料研究所教授）、「半導体量子構造とテラヘルツ電磁波との相互作用とその応用」に関する研究」（平川一彦東京大学生産技術研究所教授）を選んだ。

授賞式は、今月二十二日に東京・千代田区の千代田放送会館で開催し、受賞者による研究内容の発表も行う。また受賞者には、賞金三百万円と賞状、副賞として記念メダル、ノートパソコン「Thinkpad（R）」一台も贈呈される。

受賞者と研究テーマは、化学分野では「核酸を精密に認識する有機分子の開発と展開」（中谷和彦大阪大学産業科学研究所機能分子科学研究部門精密制御化学研究分野教授）を選定。有機小分子がデオキシリボ核酸（DNA）のミスマッチを特異的に認識することを実験的に認識することを世界に先駆けて実験的に示したことなどが評価された。この応用で、ガンや遺伝病などの診断法や治療法の開発につながる可能性があるという。

また物理分野は「新奇超伝導体における強相関領域での超伝導機構の理論的研究」（小形正男東京大学大学院理学系研究科助教授）、コンピューターサイエンス分野は「計算の意味論とプログラミング言語の理論の研究」（長谷川真人京都大学数理解析研究所助教授）、エレクトロニクス分野は「酸化物エピタキシーの精密化と集積化による新電子機能の開拓」（川崎雅司東北大学金属材料研究所教授）、「半導体量子構造とテラヘルツ電磁波との相互作用とその応用」に関する研究」（平川一彦東京大学生産技術研究所教授）を選んだ。

授賞式は、今月二十二日に東京・千代田区の千代田放送会館で開催し、受賞者による研究内容の発表も行う。また受賞者には、賞金三百万円と賞状、副賞として記念メダル、ノートパソコン「Thinkpad（R）」一台も贈呈される。

これにより第一回からの授賞は計百十四件百二十人となった。